



平成29年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社IGポート
 コード番号 3791 URL <http://www.igport.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 管理担当執行役員
 四半期報告書提出予定日 平成29年1月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 石川光久
 (氏名) 栗本典博

TEL 0422-53-0257

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年5月期第2四半期の連結業績(平成28年6月1日～平成28年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年5月期第2四半期	2,712	△33.3	216	45.3	211	44.0	90	252.3
28年5月期第2四半期	4,065	△0.2	148	△37.1	147	△50.5	25	△84.7

(注) 包括利益 29年5月期第2四半期 90百万円 (131.6%) 28年5月期第2四半期 39百万円 (△74.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年5月期第2四半期	19.20	—
28年5月期第2四半期	5.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年5月期第2四半期	8,645		4,678		53.0	
28年5月期	7,873		4,513		57.3	

(参考) 自己資本 29年5月期第2四半期 4,580百万円 28年5月期 4,513百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年5月期	—	0.00	—	5.00	5.00
29年5月期	—	0.00	—	—	—
29年5月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年5月期の連結業績予想(平成28年6月1日～平成29年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,290	△9.0	361	△13.4	369	△8.5	231	36.2	48.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
 新規 1社 (社名) CYBORG009 CALL OF JUSTICE製作委員会、除外 1社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年5月期2Q	5,055,400 株	28年5月期	5,055,400 株
29年5月期2Q	320,400 株	28年5月期	320,400 株
29年5月期2Q	4,735,000 株	28年5月期2Q	4,735,000 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境の改善により緩やかな回復基調が続いたものの、個人消費の足踏みや不確実な海外要因により変動する為替・株価等、先行き不透明な状況が続いております。

このような事業環境のもと、当社グループはアニメーション作品の企画・制作を行う映像制作事業、コミック雑誌等の企画、製造、販売及び電子コミックスで課金を行う出版事業、作品の二次利用による印税・収益分配金等を得る著作権事業に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,712,922千円(前年同期比33.3%減)、経常利益は211,840千円(前年同期比44.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は90,927千円(前年同期比252.3%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 映像制作事業

映像制作事業におきましては、劇場用アニメーション「黒子のバスケ総集編」、テレビ用アニメーション「フューチャーカード バディファイトDDD」「ハイキュー!!3期」「競女!!!!!!」「甲鉄城のカバネリ」、アニメーションPV、実写のCM等を制作いたしました。

来期以降の企画が進んでおり売上の端境期となっていることや、作品をヒットさせるため、受注を絞りクオリティーを重視したことで制作コストが増えました。

以上により、当事業の売上高は1,107,981千円(前年同期比56.8%減)、セグメント損失は188,435千円(前年同期は175,168千円のセグメント損失)となりました。

② 出版事業

出版事業におきましては、新刊は、月刊誌「コミックガーデン」、コミックス「魔法使いの嫁 6巻」「あまんちゅ! 11巻」「PEACE MAKER 鐵 11巻」等、定期月刊誌6点並びに新刊コミックス52点を刊行しました。

また、既刊コミックスの「あまんちゅ!」「魔法使いの嫁」「とつくにの少女」シリーズは、特に販売好調でありました。

以上により、当事業の売上高は897,210千円(前年同期比33.6%増)、セグメント利益は247,277千円(前年同期比67.7%増)となりました。

③ 著作権事業

著作権事業におきましては、「ハイキュー!! シリーズ」「進撃の巨人」「エヴァンゲリオン」「攻殻機動隊 シリーズ」等の二次利用による収益分配を計上しました。

前年同期に好調でありました人気作品の「劇場版 PSYCHO-PASS サイコパス」の配給やビデオグラム等の著作権収入が、今期は落ち着きました。

以上により、当事業の売上高は503,707千円(前年同期比20.4%減)、セグメント利益は166,353千円(前年同期比7.6%減)となりました。

④ その他事業

その他事業におきましては、雑誌のイラスト描きやキャラクターの商品販売、スマートフォン向けアプリ等により、当事業の売上高は204,022千円(前年同期比4.0%増)、セグメント利益は45,174千円(前年同期比14.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ771,482千円増加して8,645,058千円となりました。主な要因は仕掛品が740,419千円、映像マスターが107,700千円増加し、一方、受取手形及び売掛金が350,469千円、現金及び預金が111,070千円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ605,785千円増加して3,966,132千円となりました。主な要因は前受金が855,770千円、未払金が128,232千円増加し、一方、預り金が244,962千円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ165,697千円増加して4,678,926千円となりました。主な要因は親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が66,252千円、非支配株主持分が98,800千円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末と比べ111,070千円減少し、3,326,698千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、411,334千円(前年同期は333,178千円の増加)となりました。これは主に前受金の増加が855,770千円、売上債権の減少が350,307千円、税金等調整前四半期純利益が211,840千円、減価償却費が186,256千円となり、一方、たな卸資産の増加が789,773千円、預り金の減少が244,962千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、462,253千円(前年同期は294,582千円の減少)となりました。これは主に出資金の回収による収入が23,528千円、一方、映像マスター等の有形固定資産の取得による支出が239,975千円、無形固定資産の取得による支出が149,229千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、51,123千円(前年同期は38,331千円の減少)となりました。これは主に、配当金の支払額が22,066千円、長期借入金の返済による支出が19,998千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月期の業績予想につきましては、平成27年7月15日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

① 連結範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、平成28年7月に新たに出資した「CYBORG009 CALL OF JUSTICE」製作委員会を連結の範囲に含めております。

② 持分法適用の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、「宇宙戦艦ヤマト2199」「宇宙戦艦ヤマト2199星巡る方舟」「百日紅」の製作委員会3社は、四半期純損益(持分に見合う額)及び利益剰余金(持分に見合う額)等からみて、持分法の対象から除いても連結財務諸表に及ぼす影響が軽微であり、かつ、全体としても重要性がないため持分法の適用範囲から除外しております。また、「あまんちゅ!」製作委員会は重要性が増したため持分法の適用範囲に含めております。

さらに当第2四半期連結会計期間より、「黒子のバスケ総集編」製作委員会1社は重要性が増したため持分法の適用範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,447,880	3,336,809
受取手形及び売掛金	1,285,426	934,957
商品及び製品	143,305	195,718
仕掛品	665,154	1,405,573
貯蔵品	10,613	7,554
前渡金	140,400	163,993
繰延税金資産	49,758	62,923
その他	74,650	194,918
貸倒引当金	△5,400	△11,699
流動資産合計	5,811,789	6,290,750
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	622,373	613,131
土地	826,684	826,684
映像マスター(純額)	195,101	302,801
その他(純額)	33,689	31,380
有形固定資産合計	1,677,849	1,773,998
無形固定資産		
のれん	25,962	17,308
その他	48,820	194,582
無形固定資産合計	74,782	211,890
投資その他の資産		
投資有価証券	111,996	111,996
その他	262,024	321,288
貸倒引当金	△64,866	△64,866
投資その他の資産合計	309,154	368,418
固定資産合計	2,061,786	2,354,307
資産合計	7,873,575	8,645,058

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	654,193	595,262
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	39,996	39,996
未払金	168,593	296,825
未払法人税等	138,895	125,008
前受金	950,745	1,806,515
預り金	500,534	255,571
賞与引当金	—	3,900
役員賞与引当金	21,956	2,246
株式給付引当金	—	66,120
返品調整引当金	56,463	53,663
受注損失引当金	14,075	22,504
その他	212,702	201,742
流動負債合計	2,858,154	3,569,356
固定負債		
長期借入金	299,196	279,198
株式給付引当金	66,816	—
退職給付に係る負債	49,006	48,459
役員退職慰労引当金	47,881	37,251
その他	39,292	31,867
固定負債合計	502,192	396,775
負債合計	3,360,347	3,966,132
純資産の部		
株主資本		
資本金	781,500	781,500
資本剰余金	1,922,669	1,922,669
利益剰余金	2,219,281	2,285,534
自己株式	△420,870	△420,870
株主資本合計	4,502,580	4,568,833
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	10,648	11,292
その他の包括利益累計額合計	10,648	11,292
非支配株主持分	—	98,800
純資産合計	4,513,228	4,678,926
負債純資産合計	7,873,575	8,645,058

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年11月30日)
売上高	4,065,818	2,712,922
売上原価	3,451,618	2,007,435
売上総利益	614,199	705,486
返品調整引当金戻入額	10,400	2,800
差引売上総利益	624,599	708,286
販売費及び一般管理費	475,809	492,024
営業利益	148,790	216,261
営業外収益		
受取利息	250	264
受取賃貸料	23,146	18,336
その他	8,082	1,626
営業外収益合計	31,479	20,228
営業外費用		
支払利息	1,903	1,451
為替差損	14,888	10,697
賃貸収入原価	13,821	11,562
その他	2,576	936
営業外費用合計	33,190	24,649
経常利益	147,078	211,840
税金等調整前四半期純利益	147,078	211,840
法人税、住民税及び事業税	128,102	124,640
法人税等調整額	△6,836	△2,527
法人税等合計	121,265	122,112
四半期純利益	25,813	89,727
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	△1,200
親会社株主に帰属する四半期純利益	25,813	90,927

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年6月1日 至 平成27年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年6月1日 至 平成28年11月30日)
四半期純利益	25,813	89,727
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	13,208	644
その他の包括利益合計	13,208	644
四半期包括利益	39,021	90,372
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	39,021	91,572
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△1,200

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	147,078	211,840
減価償却費	376,471	186,256
長期前払費用償却額	969	1,680
のれん償却額	8,654	8,654
貸倒引当金の増減額(△は減少)	17,022	6,299
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△10,400	△2,800
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△25,871	8,429
賞与引当金の増減額(△は減少)	△11,598	3,900
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	2,075	△19,709
株式給付引当金の増減額(△は減少)	△348	△696
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,868	△547
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	—	△10,630
受取利息及び受取配当金	△250	△264
為替差損益(△は益)	14,888	10,697
支払利息	1,903	1,451
売上債権の増減額(△は増加)	△465,094	350,307
たな卸資産の増減額(△は増加)	123,133	△789,773
仕入債務の増減額(△は減少)	△103,404	△58,888
未払金の増減額(△は減少)	△937	81,764
預り金の増減額(△は減少)	△11,910	△244,962
前受金の増減額(△は減少)	193,466	855,770
前渡金の増減額(△は増加)	62,853	△23,593
未収消費税等の増減額(△は増加)	19,357	△61,642
未払消費税等の増減額(△は減少)	△42,782	△38,676
その他	83,742	76,487
小計	380,888	551,354
利息及び配当金の受取額	250	264
利息の支払額	△1,903	△1,425
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△46,056	△138,860
営業活動によるキャッシュ・フロー	333,178	411,334
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△295,022	△239,975
無形固定資産の取得による支出	△2,800	△149,229
出資金の払込による支出	△4,000	△29,098
出資金の回収による収入	24,245	23,528
保険積立金の積立による支出	△2,229	△2,229
差入保証金の差入による支出	△40	△65,386
その他	△14,734	138
投資活動によるキャッシュ・フロー	△294,582	△462,253

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年6月1日 至 平成27年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年6月1日 至 平成28年11月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△19,998	△19,998
配当金の支払額	△9,696	△22,066
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△8,600	△7,427
その他	△36	△1,631
財務活動によるキャッシュ・フロー	△38,331	△51,123
現金及び現金同等物に係る換算差額	43	△9,028
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	309	△111,070
現金及び現金同等物の期首残高	2,562,372	3,437,768
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,562,681	3,326,698

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年6月1日至平成27年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	映像制作事業	出版事業	著作権事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	2,565,373	671,652	632,541	3,869,567	196,251	4,065,818
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,565,373	671,652	632,541	3,869,567	196,251	4,065,818
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△175,168	147,423	180,039	152,294	39,324	191,619

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、原稿(雑誌のイラスト)や商品販売等を行っています。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	152,294
「その他」の区分の利益	39,324
のれんの償却額	△8,654
全社費用(注)	△34,174
四半期連結損益計算書の営業利益	148,790

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成28年6月1日至平成28年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	映像制作事業	出版事業	著作権事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	1,107,981	897,210	503,707	2,508,899	204,022	2,712,922
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,107,981	897,210	503,707	2,508,899	204,022	2,712,922
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△188,435	247,277	166,353	225,195	45,174	270,370

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、原稿(雑誌のイラスト)や商品販売等を行っています。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	225,195
「その他」の区分の利益	45,174
のれんの償却額	△8,654
全社費用(注)	△45,455
四半期連結損益計算書の営業利益	216,261

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。